

2010年度第1四半期 決算説明会

2010年7月29日
株式会社村田製作所



1. 2010年度 第1四半期業績概要

**2010年4月～2010年6月
第1四半期連結会計期間**

業績概況

	2009年度 第1四半期		2009年度 第4四半期		2010年度 第1四半期		前年同期比 10Q1/09Q1		直前四半期比 10Q1/09Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	1,175	100.0	1,353	100.0	1,537	100.0	+362	+30.8	+184	+13.6
営業利益 (▲損失)	▲ 38	▲ 3.2	93	6.9	215	14.0	+253	—	+122	+130.4
税引前利益 (▲損失)	▲ 51	▲ 4.3	116	8.6	233	15.1	+283	—	+117	+100.8
当期純利益 (▲損失)	▲ 37	▲ 3.1	107	7.9	155	10.1	+191	—	+47	+44.2

製品別売上高

	2009年度 第1四半期		2009年度 第4四半期		2010年度 第1四半期		前年同期比 10Q1/09Q1		直前四半期比 10Q1/09Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	382	32.6	480	35.6	549	35.9	+167	+43.7	+69	+14.4
圧電製品	175	15.0	214	15.9	232	15.1	+56	+32.2	+18	+8.4
その他 コンポーネント	217	18.6	261	19.3	292	19.1	+75	+34.5	+31	+12.0
通信モジュール	298	25.4	269	20.0	320	20.9	+23	+7.6	+51	+18.9
その他モジュール	99	8.4	124	9.2	138	9.0	+40	+40.5	+14	+11.5
製品売上高計	1,171	100.0	1,348	100.0	1,531	100.0	+361	+30.8	+183	+13.6

製品別売上高概況

(2009年度第1四半期→2010年度第1四半期)



コンデンサ (前年同期比+43.7%)	・ チップ積層セラミックコンデンサ：主要な電子機器の生産台数増と大容量化の進展により大幅増 ・ 用途特化型品：PC向けで数量ベースでは増加するものの、価格下落の影響で金額ベースでは大幅減
圧電製品 (前年同期比+32.2%)	・ 表面波フィルタ：携帯電話、データカードの生産台数増により大幅増 ・ セラミック発振子：主力のカーエレ含む全用途で大幅増 ・ ショックセンサ(HDD向け)、超音波センサ(バックソナー向け)：大幅増
その他コンポーネント (前年同期比+34.5%)	・ EMI 除去フィルタ：全用途で大幅増 ・ コイル、コネクタ：携帯電話向けを中心に大幅増 ・ サーミスタ：家電、ノートPCバッテリー向けを中心に大幅増
通信モジュール (前年同期比+7.6%)	・ 近距離無線通信モジュール：携帯電話、携帯メディアプレイヤー向けを中心に堅調 ・ 通信機器用モジュール：携帯電話向けで大幅増
その他モジュール (前年同期比+40.5%)	・ 電源：プリンタやコピー機などの事務機器向けを中心に大幅増

製品別売上高概況

(2009年度第4四半期→2010年度第1四半期)



コンデンサ (直前四半期比+14.4%)	・ チップ積層セラミックコンデンサ : 全ての用途で増加 ・ 用途特化型品 : 数量、金額ともに減少
圧電製品 (直前四半期比+8.4%)	・ 表面波フィルタ : 携帯電話、データカード向けを中心に大幅増
その他コンポーネント (直前四半期比+12.0%)	・ EMI 除去フィルタ : 家電・その他以外の用途で増加 ・ コイル、コネクタ : 携帯電話向けを中心に大幅増
通信モジュール (直前四半期比+18.9%)	・ 近距離無線通信モジュール : 携帯電話向けで大幅増 ・ 多層デバイス : 携帯電話向け、データカード向けを中心に大幅増 ・ 通信機器用モジュール : 携帯電話向けで大幅増
その他モジュール (直前四半期比+11.5%)	・ 電源 : プリンタやコピー機などの事務機器向けを中心に大幅増

用途別売上高

	2009年度 第1四半期		2009年度 第4四半期		2010年度 第1四半期		前年同期比 10Q1/09Q1		直前四半期比 10Q1/09Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	160	13.6	185	13.7	202	13.2	+42	+26.3	+16	+8.8
通信	551	47.1	528	39.2	639	41.7	+88	+16.0	+111	+20.9
コンピュータ及び 関連機器	202	17.3	257	19.0	300	19.6	+97	+48.2	+43	+16.8
カーエレクトロニクス	126	10.8	192	14.2	195	12.7	+69	+54.9	+4	+2.0
家電・その他	132	11.2	186	13.8	195	12.8	+64	+48.5	+9	+5.1
製品売上高計	1,171	100.0	1,348	100.0	1,531	100.0	+361	+30.8	+183	+13.6

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2009年度第1四半期→2010年度第1四半期)



AV機器 (前年同期比+26.3%)	・ 薄型テレビ向けコンデンサ、携帯メディアプレイヤー向け近距離無線通信モジュールが大幅増
通信 (前年同期比+16.0%)	・ スマートフォン、第3世代携帯電話、データカード向けに、コンデンサ、表面波フィルタが大幅増
コンピュータ及び 関連機器 (前年同期比+48.2%)	・ PC向けにコンデンサ、HDD向けにショックセンサ、プリンタ・コピー機向けに電源が大幅増
カーエレクトロニクス (前年同期比+54.9%)	・ 車載用コンデンサ、カーオーディオ／ナビ向け近距離無線通信モジュール、ディーゼルエンジン向けアクチュエータ、バックソナー向け超音波センサが大幅増

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2009年度第4四半期→2010年度第1四半期)

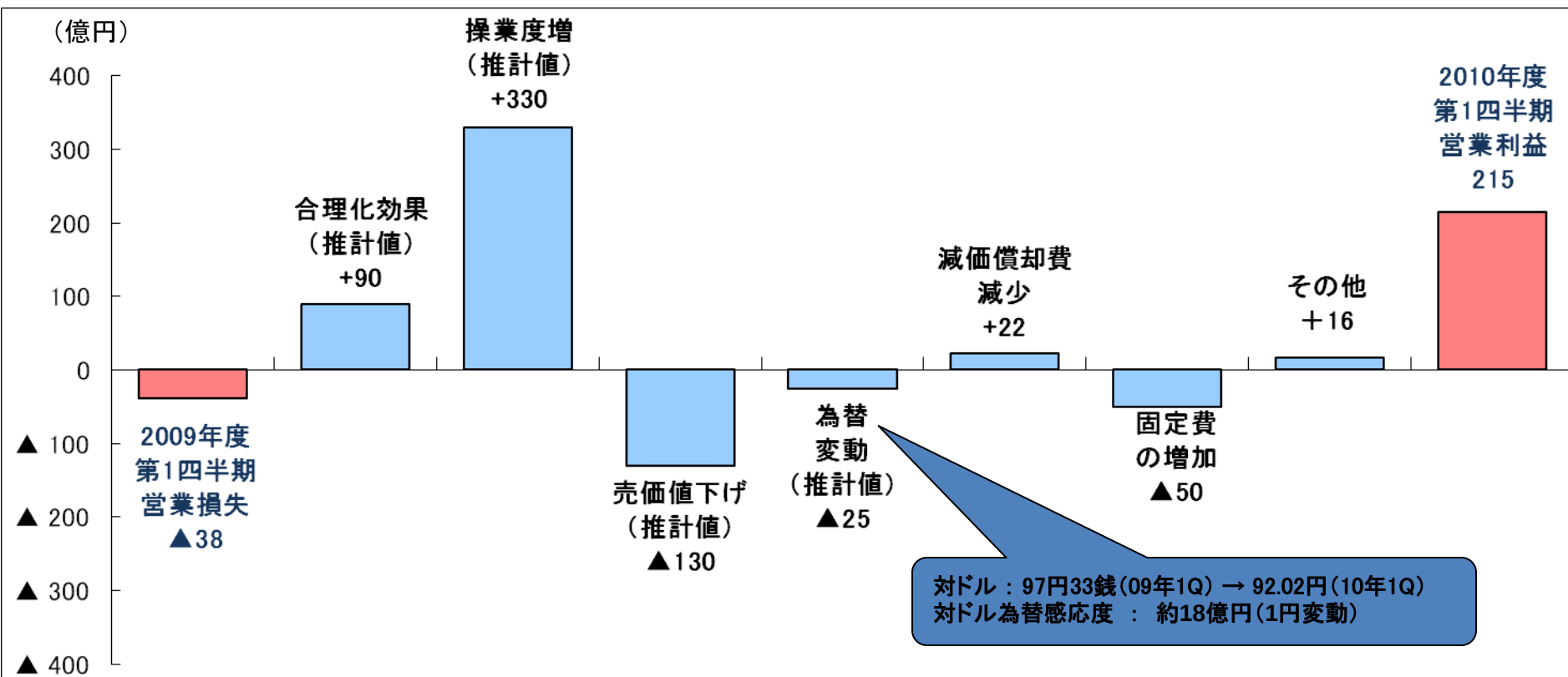


AV機器 (直前四半期比+8.8%)	・ 薄型テレビ向けコンデンサを中心に増加
通信 (直前四半期比+20.9%)	・ スマートフォン、第3世代携帯電話向けに、コンデンサ、近距離無線通信モジュール、表面波フィルタが大幅増
コンピュータ及び 関連機器 (直前四半期比+16.8%)	・ PC向けにコンデンサ、プリンタ・コピー機向けに電源が大幅増
カーエレクトロニクス (直前四半期比+2.0%)	・ コンデンサ、ディーゼルエンジン向けアクチュエータが堅調

(注) 当社推計値に基づいております

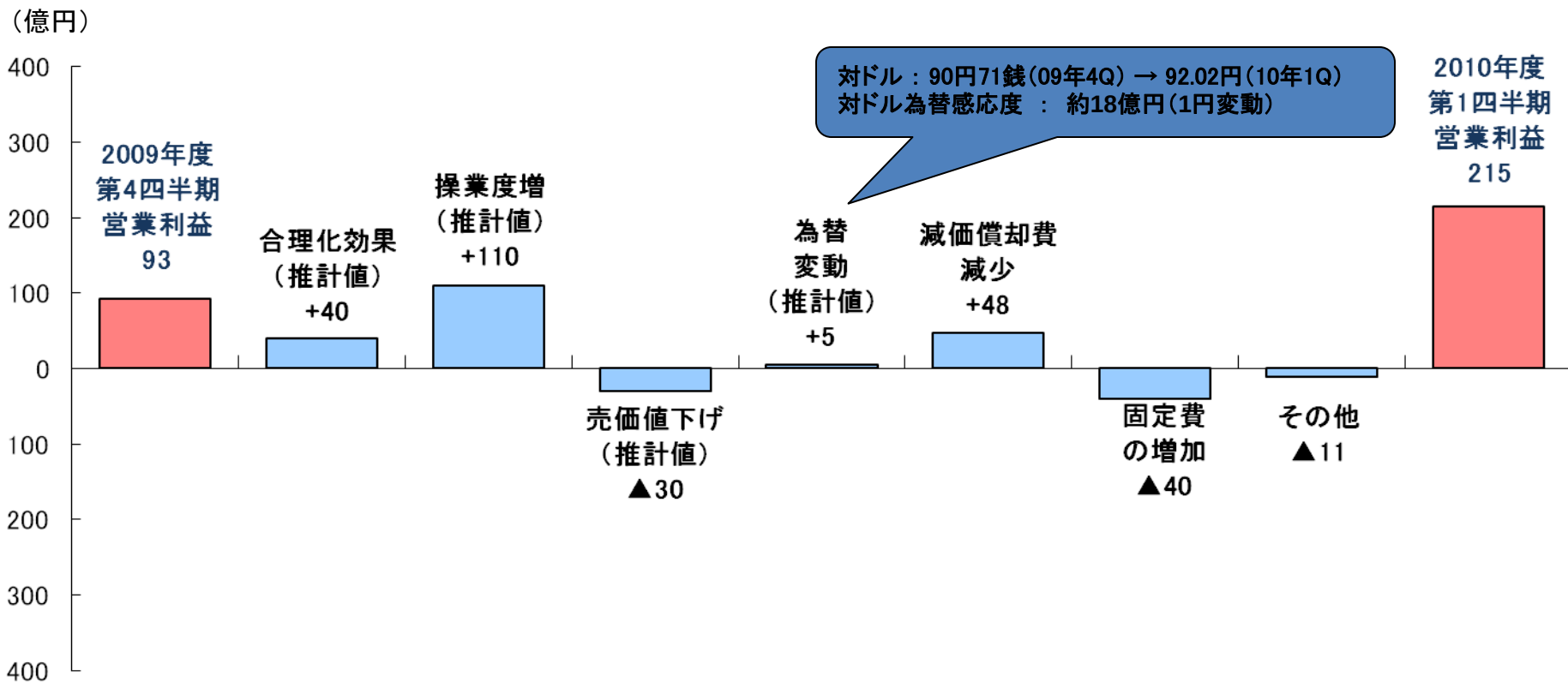
利益変動要因

(2009年度第1四半期→2010年度第1四半期)

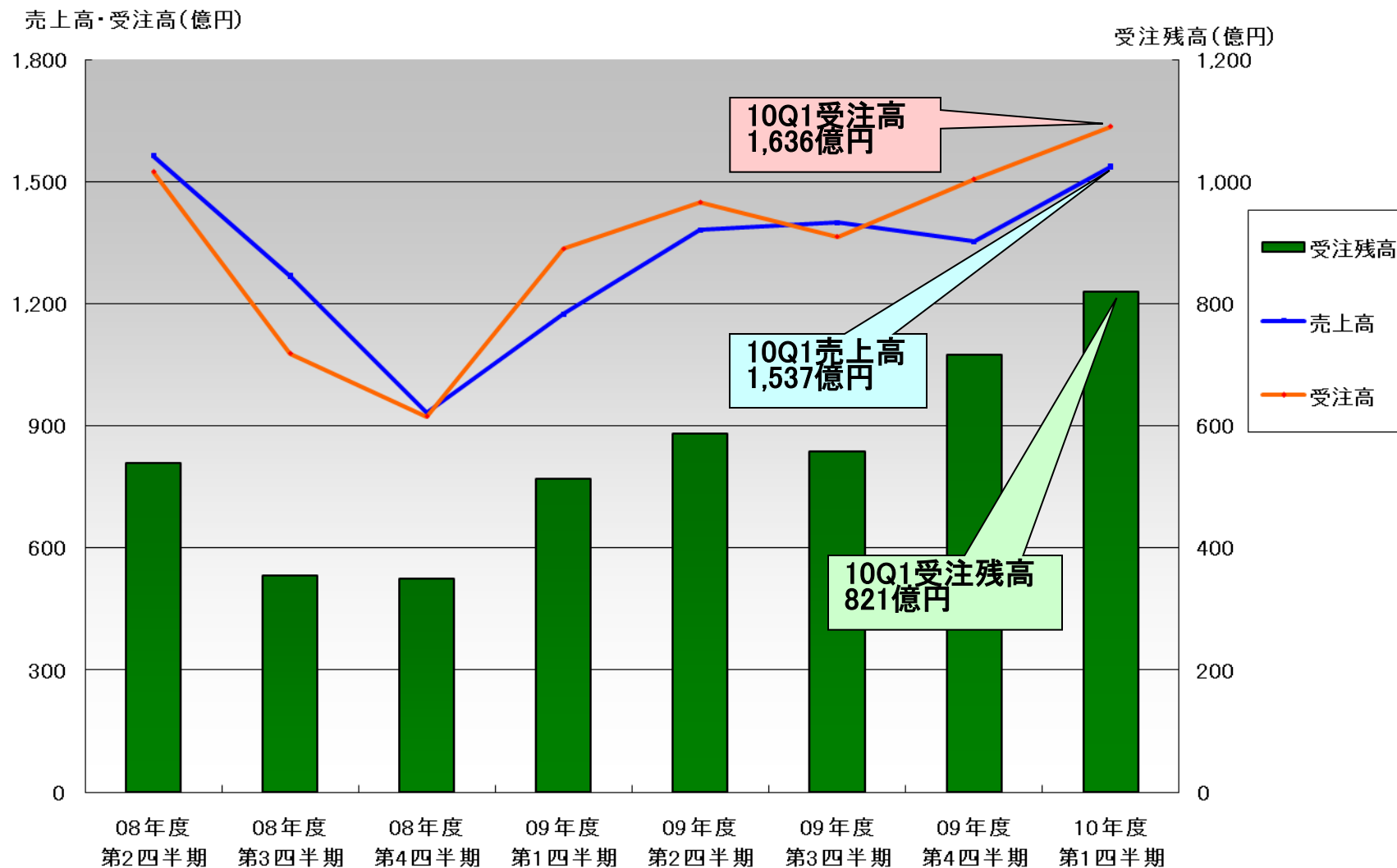


利益変動要因

(2009年度第4四半期→2010年度第1四半期)



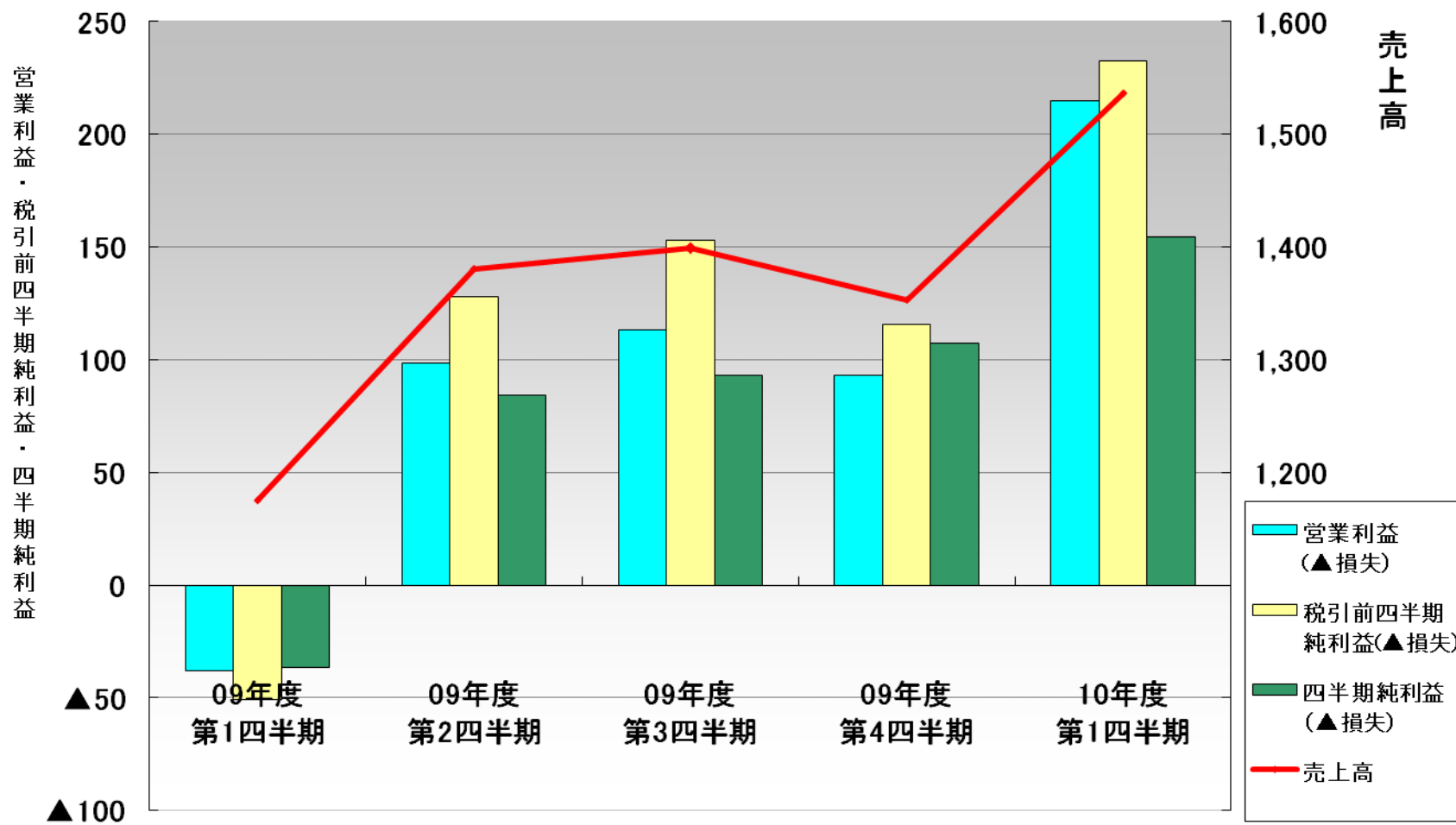
売上・受注・注残推移(四半期)



業績推移(四半期)

(億円)

(億円)



2. 2010年度 業績予想

製品別売上予想

	2010年度第1四半期 実績	2010年度第2四半期 予想 (10Q1比較)
	(億円)	
コンデンサ	549	+10%程度
圧電製品	232	横這い
その他コンポーネント	292	+5%程度
通信モジュール	320	+5%程度
その他モジュール	138	横這い
計	1,531	+5%

用途別売上予想

	2010年度第1四半期 実績	2010年度第2四半期 予想 (10Q1比較)
	(億円)	
AV	202	+10%程度
通信	639	+7%程度
コンピュータ及び 関連機器	300	+5%程度
カーエレクトロニクス	195	横這い
家電・その他	195	横這い
計	1,531	+5%

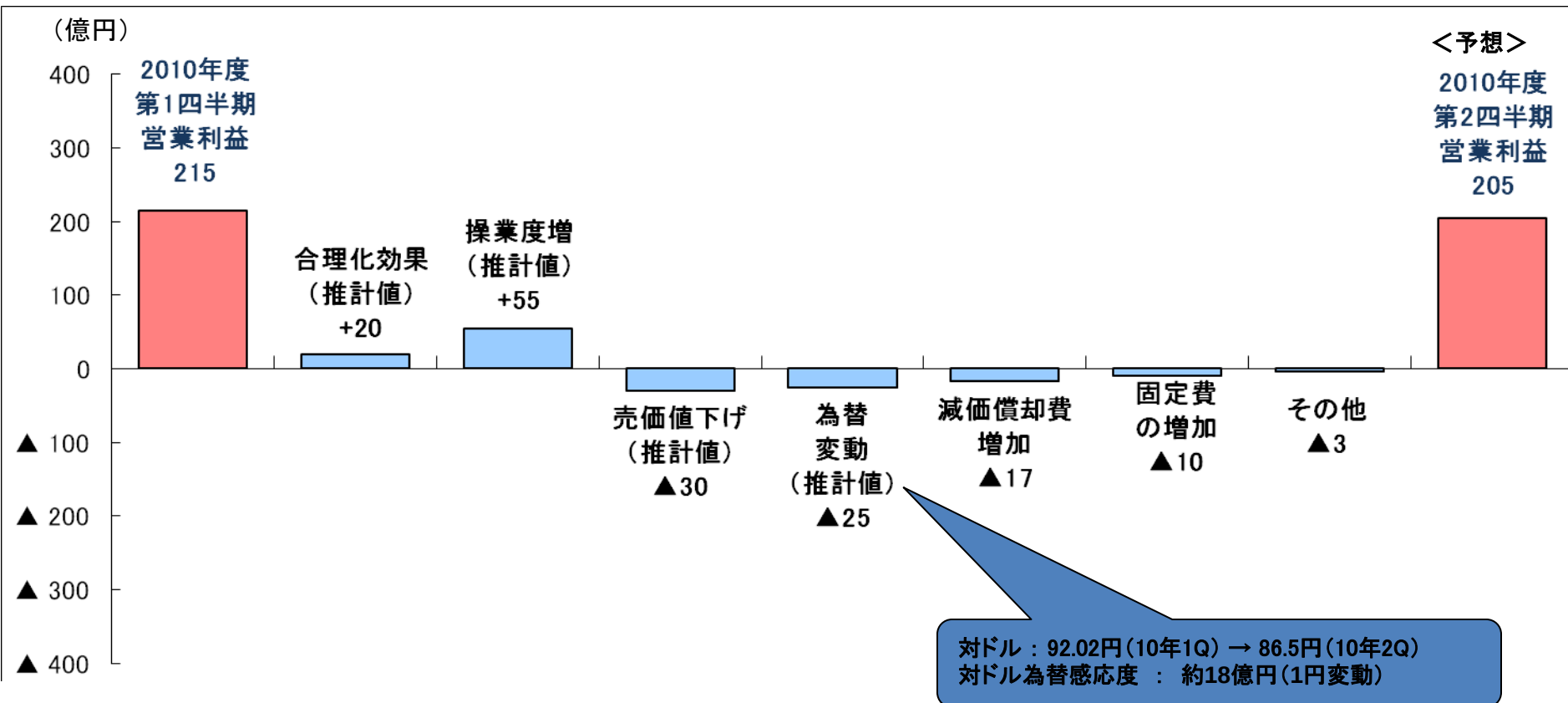
(注) 当社推計値に基づいております

2010年度上期の業績予想

	従来予想	今回予想			増減	
	2010年 上期予想	第1四半期 実績	第2四半期 予想	2010年 上期予想		
売上高	(億円) 3,000	(億円) 1,537	(億円) 1,613	(億円) 3,150	(億円) +150	(%) +5.0
営業利益	330	215	205	420	+90	+27.3
税引前当期純利益	350	233	227	460	+110	+31.4
当期純利益	230	155	155	310	+80	+34.8

利益変動要因

(2010年度第1四半期→2010年度第2四半期予想)



業績予想の前提

	従来予想 2010年上期予想	今回予想 2010年上期予想
減価償却費	300億円	300億円
研究開発費	205億円	200億円
設備投資額	214億円	214億円
為替レート(US\$)	90.0円/US\$	89.26円/US\$
為替レート(EUR)	125.0円/EUR	113.5円/EUR

1Q : 92.02円
2Q : 86.5円

1Q : 117.0円
2Q : 110.0円

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。